

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月30日

前週の平均農作業可能数は6日であった。降水は州中央地区及び南中央地区に集中し（計0.48～1.27インチ）、これらの地区では収穫作業が中断した。土壌水分は、州を西側半分が“不足”状態であり、南部は“極めて不足”の状態である。全州でおよそ46%の硬質春小麦がTurning（昨年同期で33%、平年同期41%）。2%の圃場で収穫が開始された。出穂後の進展が極めて早い。作柄は39%が“平年並かそれ以上”と評価されているが、前週より悪化した。

デュラム小麦は、90%が出穂し54%が乳熟期にある（昨年：55%、平年：55%）。21%が登熟期にあり、昨年同期では11%、平年では17%となっている。デュラム小麦の生育は平年より遅れていたが、生殖成長に入り平年並みペースに追い付き、登熟は平年を上回る速さで進み、既に1%が収穫された。作柄は平年より悪い。

2002年7月28日現在

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	16	35	47	2
Last week (%)	19	25	53	3
Last year (%)	0	5	77	18
5-yr. Ave. (%)	3	17	71	9

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	16	30	51	3
Last week (%)	20	24	53	3
Last year (%)	0	4	76	20
5-yr. Ave. (%)	3	14	72	11

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	9	15	37	35	4
Durum wheat (%)	4	14	45	36	1

小麦生育状況：次ページ

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況  
2002年7月28日（続）

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
<b>Spring wheat</b>				
Headed (%)	97	92	96	95
Milk (%)	78	64	77	77
Turning (%)	46	26	33	41
Combined (%)	2	0	0	2
<b>Durum wheat</b>				
Boot (%)	98	87	99	95
Headed (%)	90	74	93	87
Milk (%)	54	28	55	55
Turning (%)	21	7	11	17
Combined (%)	1	0	0	0

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service